

加工・業務用野菜産地と実需者との交流会(大阪)の概要について

7月29日(金)、「加工・業務用野菜産地と実需者との交流会」をマイドームおおさか(大阪市)において開催しました。

平成23年度第1回目の開催となる本交流会では、出展者は61団体、来場者は約300名と、多数の方にご来場いただきました。

- 1 出展者数 61 ブース (61 団体)
(JA 及び生産者 31、植物工場 2、種苗会社 12、流通業者 11、行政等 5)
- 2 来場者数 278 名 (出展者を含まない)
 - ・メーカー・製造・加工 (57 名)
 - ・外食・中食・給食関係等 (30 名)
 - ・流通関係業者 (119 名)
 - ・行政・団体 (64 名)
 - ・マスコミ (8 名)

3 ブースの内容

各ブースにおいて、開催地である近畿地方の野菜を中心に、全国各地から様々な野菜が展示されました。中でも伝統野菜や新品種の野菜などが多く紹介され、来場者は出展者の説明を熱心に聞いていました。また、野菜単体のみならず、カット野菜や飲料、スイーツ等の加工品も多く展示され、幅広い内容の充実した展示会となりました。



4 マッチング促進セミナー

マッチング促進セミナーでは、株式会社三晃ディストリビュータ事業部長の藤澤公義氏と、学校法人大和学園理事、ラ・キャリエールクッキングスクール校長の仲田雅博氏にご講演いただきました。

いずれのセミナーも、参加者は熱心に聴講し、大変好評でした。



講師及びセミナータイトル

① FRUXグループ株式会社三晃

ディストリビュータ事業部 部長 藤澤 公義 氏

「フルックスグループにおける契約取引の取組みについて」

② 学校法人大和学園理事

ラ・キャリエール クッキングスクール 校長 仲田 雅博 氏

「国産野菜の美味しさ」

5 アンケート結果

回答数：188件（うち、「役に立った」との回答数176件（94%）、その中で「参考となる情報が得られた」、「情報交換ができた」との回答数が104件（34%））

○ 来場者からの交流会に対する主な意見

役立った、良かった内容	今後の改善、要望等
<ul style="list-style-type: none">・多くの生産者と直接情報交換ができた。・実際に野菜を試食できて確認できたことが良かった。・取引したい新商品が見つかった。・品揃えが良く、説明も分かりやすかった。・面白く創造意欲の高まる商品があった。・ベジ探での情報提供が良かった。・普段では付き合いのない業界の参考となる話が聞けた。・変わった商品が多く、なおかつ丁寧に説明してくれた。	<ul style="list-style-type: none">・今後も定期的開催してもらいたい。・もっと全国規模で出展者を増やしてほしい。・各地の伝統野菜とその加工品の提案がほしい。・生産者、種苗会社、市場の3つを繋げる場をセットしてほしい。・野菜の調理コーナーを設けてほしい。